

## 中国大会で優勝

大竹ミニバスケットボール教室



1月4日から6日に、岡山県総社市で行われた「第38回中国ミニバスケットボール交歓大会」で、大竹小学校の女子ミニバスケットボールチームが優勝を飾りました。県大会では3位でしたが、県大会1位、2位のチームを破り、見事雪辱を果たしました。

大竹写友会・フォトクラブ

## 「虫干」合同写真展

問い合わせ

長谷山宅 ☎02616

とき

5月22日(水)~26日(日)  
10時~17時(最終日16時まで)

ところ

ギャラリーおたけ  
(市立図書館2階)



①声高らかに「一年生になったら」を歌いました。②式を終え退場。一斉に保護者のカメラが向きます。③教室で名前を呼ばれると、元気な返事が響きます。

④まだ覚えていない校歌。紙を見ながら小さな声で。⑤ちよっと大きめの制服が初々しい。

4/9 TUE

## 新生活の第一歩

大竹小学校・玖波中学校

春の日差しに包まれ、市内の小中学校で入学式が行われました。

玖波中学校では、17人の新入生を迎え、3年の小池菜月さんが「実りある中学校生活になるよう一緒に頑張りましょう」と歓迎の言葉を贈りました。

大竹小学校では3クラス99人が入学。入学式で野崎光弘校長は、新入生に「元気よくあいさつする」「自分のことは自分です」「元気に学校に来る」という3つの約束をしましょうと呼びかけると、「はい」と元気よく答えていました。



③OBや地域の人が休校を惜しんで集まりました。④出発式でゲストの歌手「階堂和美さんと一緒に『いのちの記憶』を歌いました。⑤三倉岳の峰高く忘れられない校歌。



3/25 MON

## 卒業、そして出発のとき

栗谷小学校

3月末で休校になる栗谷小で卒業式が行われ、1人の卒業生、横道双葉さんが、教職員や保護者らに見守られ、通い慣れた学び舎を巣立っていきました。1755番目の卒業生となった横道さんに、兼田等校長は「あなたも歴史に残ったという証しです。これからも栗谷小プライドを持って乗り切ってください」と、はなむけの言葉を贈りました。

明治11年に産声を上げた栗谷小。その歴史にいったん幕を下ろします。25日には、卒業生や地域の人、栗谷小ゆかりの人などを招いて「出発の式」が催され、140年の栗谷小の歴史を振り返り、全員の校歌斉唱で締めくくりました。



3/20 WED

①全校3人の小学校。卒業式を終え先生と。②1年生2人のお姉さんとして、一輪車やチャダンを励んできた横道さん。小学校生活にピリオドを打ちます。



▲「亀居城まつり」は、消防団として毎年交通整理を担当。今年は家族サービスです」と松島哉寿さん(黒川1)



4/7 SUN

日頃は存在を忘れがちな桜ですが、春の訪れとともに、思い出しただよに自己主張を始めます。お城山では、見事に咲いた桜に囲まれて、亀居城まつりが催されました。

好天に恵まれ会場を訪れた多くの人は、満開の花とステージで繰り広げられる歌や踊り、ダンスなどを楽しんでいました。

亀居城太鼓の演奏では、2歳6カ月になる杉本奨悟ちゃん(晴海1)がステージデビュー。メンバーのお父さん、お母さんと一緒に一生懸命に叩く姿がありました。

①Pure Dropsのダンスが、会場を盛り上げます。②ネットで探して広島市から訪れた政兼克哉さん、里佳さん夫妻。里佳さんは、妊娠10カ月。予定日は近いです。③桜の花が空を覆います。



4

①杉本奨悟ちゃんの熱演。「最後まで頑張っておいてくれました」とお父さんの剛さん。②カラフルなTシャツで踊った灘本雅ちゃん(6歳)は「ドキドキしなかつたよ」。③満開の桜の中で、まつりを満喫。④力強く華やかに雪峰流竹柳館の剣舞。



f のついているものは、これ以外の写真も大竹市公式フェイスブックで見ることができます。